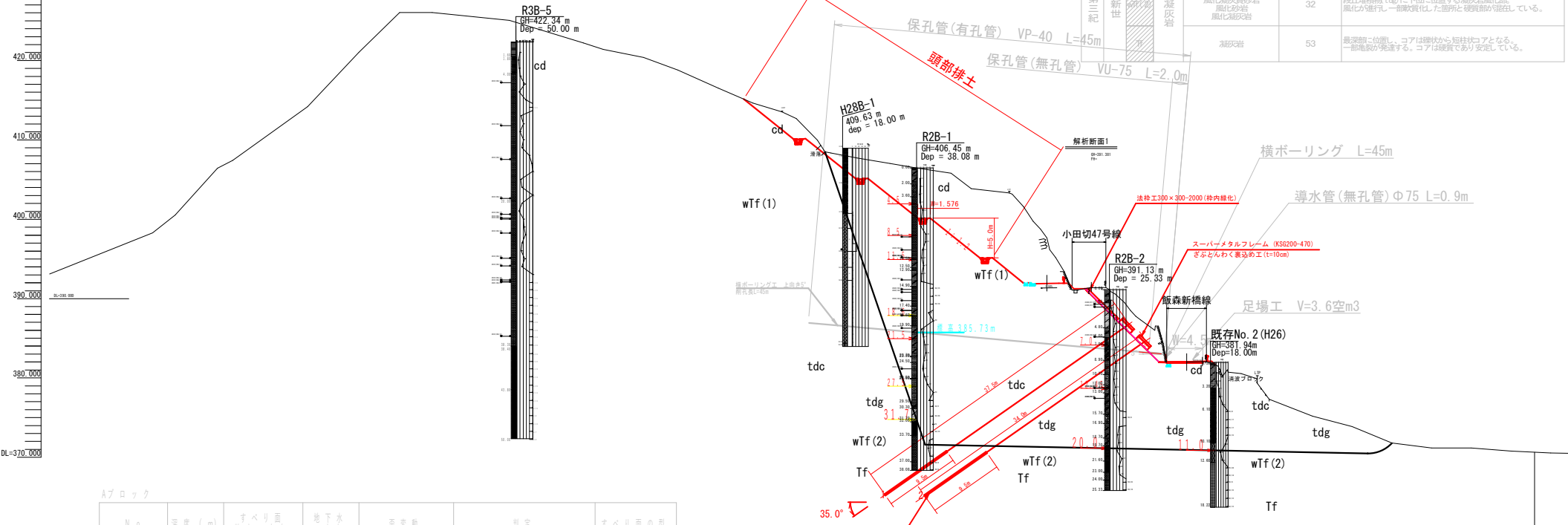


# 解析断面 I S=1:250

地層時代	記号	地層名	主な土質	N値	記 事
第四紀 更新世	cd	崩積土	礫混じり粘性土 礫混じりシルト 礫混じり砂質シルト シルト混じり砂 凝灰質シルト	4	凝灰岩崩壊の風化生成物 凝灰岩塊を含む消積土・表土 遷移線前後の凝灰岩面の表層二分布
	tdc	段丘堆積物	礫混じり粘土 礫混じりシルト 細砂・シルト・砂 礫混じりシルト 凝灰質砂 礫混じり砂	14	粘土・シルト・細砂を主な構成物とする堆積物。 層厚は10m以上に及ぶ。
	tsk	礫堆積物	粘土混じり礫 礫混じり砂 砂礫 玉石混じり砂礫	30	円礫を主な構成物とする堆積物。 層厚は最大4m程度である。
第三紀 中新世	wtf(1)	礫混じり粘土 シルト混じり礫 強風化凝灰岩	礫混じり粘土 シルト混じり礫 強風化凝灰岩	11	段丘堆積物を覆うように分布する強風化凝灰岩部。 礫状部分と粘土化部分が交互に分布する。 層厚は、17~19m程度に及ぶ。
	wtf(2)	強風化凝灰岩 凝灰質砂岩 風化凝灰岩 風化砂岩	強風化凝灰岩 凝灰質砂岩 風化凝灰岩 風化砂岩	32	段丘堆積物 tdc に下位に位置する凝灰岩風化部。 風化が進行し一部軟弱化した箇所と硬質部が存在している。
		凝灰岩	凝灰岩	53	最深部に位置し、コアは塊状から短柱コアとなる。 一部亀裂が発達する。コアは線質であり安定している。



Aブロック

No	総長 (m)	すべり面の有無	止水の有無	掘削深 (m)	掘削径 (mm)	掘削機	掘削方法	掘削時期
R2B-1	31.7	有	有	31.7	φ32	掘削機	掘削機掘削	掘削機掘削
R2B-2	20.0	有	有	20.0	φ32	掘削機	掘削機掘削	掘削機掘削
No. 2 (H26)	11.0	有	有	11.0	φ32	掘削機	掘削機掘削	掘削機掘削

<すべり面形状>  
 ・ 頭部地表面段差と R2B-1(31.7m)を結ぶ直線  
 ・ R2B-2(20.0m)と No. 2(H26) (11.0m) を結ぶ利川河床の傾斜面とを結ぶ直線  
 以上の2直線を結ぶ椅子型すべり面

PC鋼線より線・KTB・両端分岐型永久アンカー (KS-6)  
 Td = 397.5 kN/本, etc = 3.00 m

項目	単位	数値
鋼線張力	kN	397.5
アンカー長さ	m	3.00

